

Bruno Taut

2026年度大阪公立大学公開講座

ブルーノ・タウトと モダニズム建築

*杉本キャンパス
*生駒山上住宅地
でのフィールドワーク
(実地見学)があります。

講師：北村 昌史
大阪公立大学 文学研究科 教授

ドイツの建築家ブルーノ・タウト（1880－1938年）は、ドイツでナチスが政権を掌握すると日本に亡命しました。日本では建築家としては十分な活動はできませんでしたが、日本文化について論じるなど日本社会に誠実に向き合って3年半の期間活動をしました。タウトの活動の跡や彼に影響を受けた人物の活動から日本社会におけるタウトの影響を語ります。

詳細は裏面をご覧ください ▶

2026年 10月3日 土 ～10月24日 土 毎週土曜日・全4回

日時と会場

第1回：10月 3日(土)	14時00分－15時30分	大阪公立大学 I-siteなんば
第2回：10月10日(土)	14時00分－15時30分	大阪公立大学 I-siteなんば
第3回：10月17日(土)	14時00分－15時30分	大阪公立大学 杉本キャンパス
第4回：10月24日(土)	14時00分－15時30分	生駒山上住宅地

*第3回・第4回はフィールドワーク(実地見学)です。

*フィールドワーク(実地見学)では、急な階段や坂道の上下りがあります。

大阪公立大学
アクセスマップ ▶



- 定員：30名（申込者多数の場合は抽選） ■ 対象者：どなたでも ■ 受講料：4,000円（全4回分）
- 申込方法：下の(1)(2)いずれかの方法でお申し込みください。 ※フィールドワークにかかる交通費は別途要
- (1) 申込フォーム：本学Webサイトまたは右記二次元コード「申込フォーム」からお申し込みください。
- (2) 往復はがき：往信用はがきに ①氏名（フリガナ）、②年齢、③郵便番号・住所、④電話番号、⑤このチラシの入手先 をご記入の上、下記宛先へお送りください。

申込締切
9/9(水)
必着

※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。

(宛先) 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル
大阪公立大学 産学官民共創推進室 「ブルーノ・タウト」係

※受講の可否は 9/18(金)までに通知します。届かない場合は必ずお問い合わせください。

申込フォーム ▶



■ 問合せ先：大阪公立大学 産学官民共創推進室 社会連携担当 Tel 06-7656-5112 Fax 06-7656-5203

大阪公立大学
生涯学習・公開講座Webサイト ▶

大阪公立大学 公開講座

検索



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

※お申し込みの際の個人情報、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。



講義概要

※感染症の流行や自然災害等の影響により、
日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。

第1回：10月3日(土) 14時00分～15時30分

日本とトルコにおける『アルプス建築』

タウトは建築活動と並行して著作活動を展開しました。彼の代表作は、第1次世界大戦中に書いた『アルプス建築』です。戦争するくらいならアルプスの山々の頂に無用の構造物を作ったほうがよいと述べた作品です。『アルプス建築』の事例としてタウトが設計して実現しなかった生駒山上住宅地を取りあげます。



講師：北村 昌史

大阪公立大学 文学研究科 教授

第2回：10月10日(土) 14時00分～15時30分

大阪公立大学杉本キャンパスのモダニズム建築群

杉本キャンパスは、1930年代に作られましたが、当時設計を担当したのは大阪市建築課長の伊藤正文です。タウトの設計した建物を念頭に置きながら、杉本キャンパスのモダニズム建築について語ります。

第3回：10月17日(土) 14時00分～15時30分

杉本キャンパスのモダニズム建築実地見学（フィールドワーク）

時計台のある1号館を手始めに、杉本キャンパスのモダニズム建築群を巡り、建物に施されている様々なデザインや工夫について説明します。

※雨天決行 ※現地集合・交通費は自己負担

第4回：10月24日(土) 14時00分～15時30分

生駒山上住宅地実地見学（フィールドワーク）

生駒山上住宅地の計画は、建物はタウトの設計からかけ離れたものとなりましたが、道路はタウトが設計したとおり現在もほぼ残っています。タウトが住宅地の中核とした飛行塔から始めて道路を辿り、タウトが日本に残したものを実体験します。

※雨天決行 ※現地集合・交通費は自己負担

